

平成22年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

大仙市分析結果

I 実施状況

1 調査の目的

- (1) 子どもの体力の状況を把握・分析することにより、体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- (2) 子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒 小学校第5学年 中学校第2学年

3 調査の方式	抽出調査	・抽出対象校（国公立）		
	全国小学校	4,350校（抽出率 18.7%）	秋田県小学校	84校（抽出率 33.5%）
	全国中学校	2,211校（抽出率 18.5%）	秋田県中学校	44校（抽出率 33.6%）

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

①実技に関する調査

- ・小学校8種目…握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立幅とび、ソフトボール投げ
- ・中学校8種目…※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）、20mシャトルラン、50m走、立幅とび、ハンドボール投げ

②質問紙調査

- ・運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

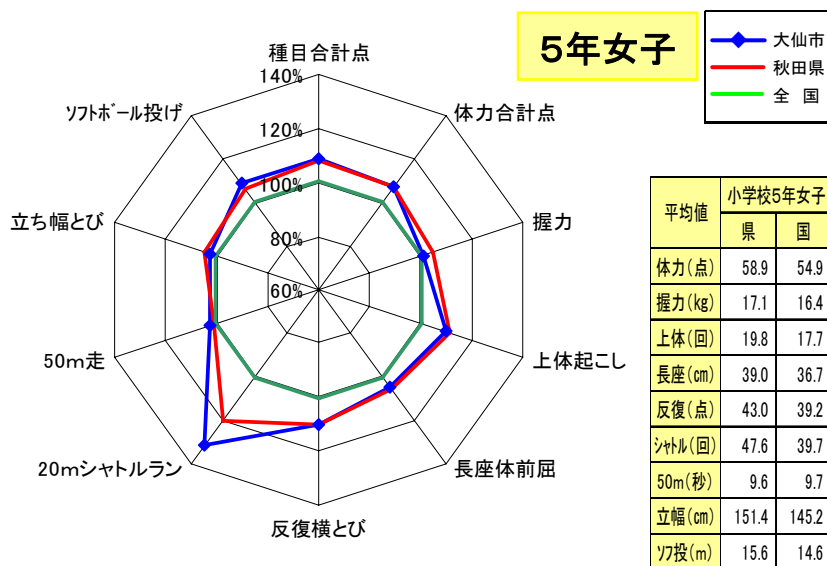
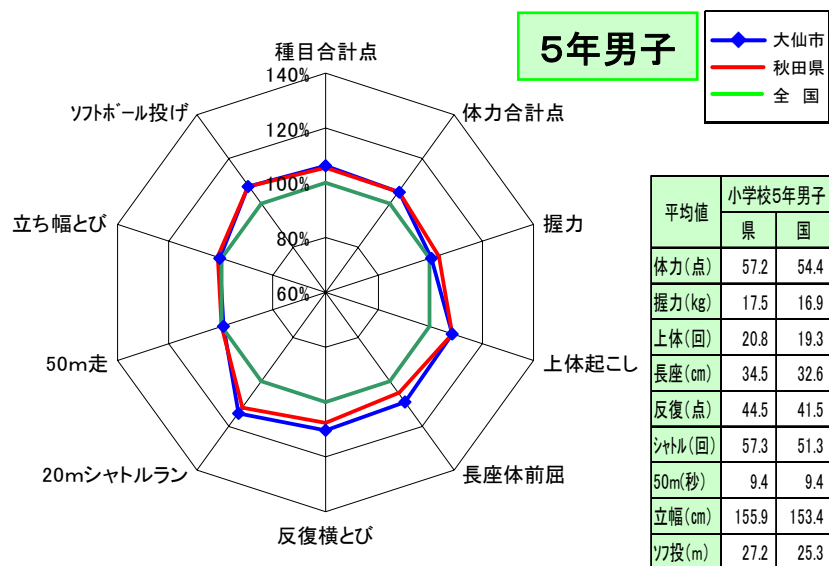
(2) 学校に対する調査

- ・学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

1 小学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点及び種目合計の全国平均を100%として比較
(体力合計点：実技の数値を得点化したもの〔8種目＝80点満点〕)



○小学校5年男女総合評価

- ・総合評価「A」の児童の割合は、男女共に国を（男：10%以上、女：約10%）上回り、男子は県を上回っている。総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国や県を下回っている。

○小学校5年男子

- ・8種目中3種目（長座体前屈、反復横とび、シャトルラン）で国や県を上回っており、4種目（握力、上体起こし、立ち幅とび、ソフトボール投げ）は国を上回っているが、県を下回っている。1種目（50m走）は国や県を下回っている。体力合計点は、国や県を上回っている。

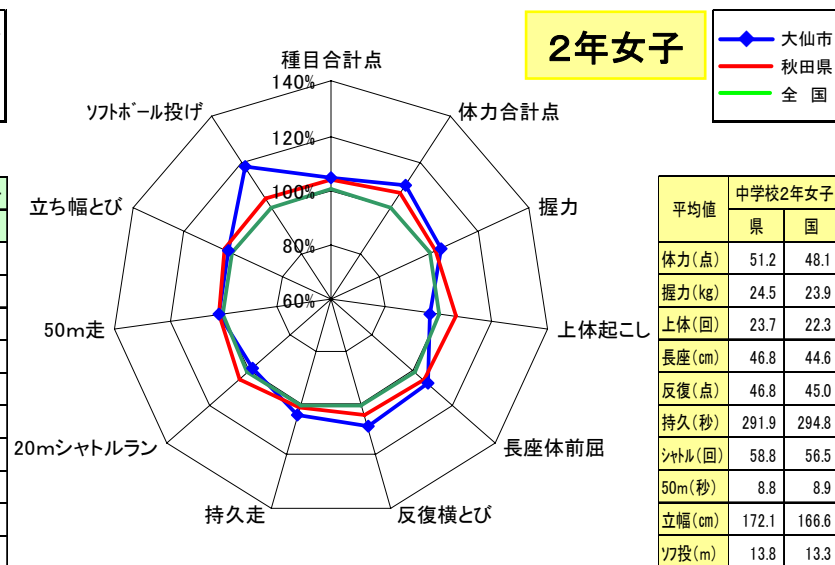
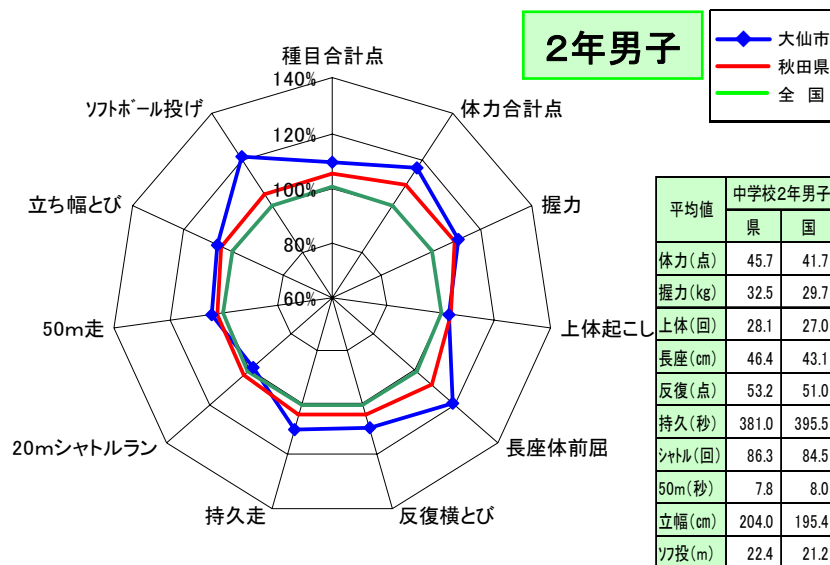
○小学校5年女子

- ・8種目中4種目（反復横とび、シャトルラン、50m走、ソフトボール投げ）で国や県を上回っており、4種目（握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび）は国を上回っているが、県を下回っている。体力合計点は国を上回り、県と同程度となっている。

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

2 中学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点及び種目合計の全国平均を100%として比較
(体力合計点：実技の数値を得点化したもの〔8種目＝80点満点〕)



○中学校2年男女総合評価

- ・総合評価「A」の生徒の割合は、男女共に国を（男：約25%、女：15%以上）上回り、県も上回っている。女子は総合評価「B」の生徒の割合も国や県を約8%上回っている。総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国や県を下回っている。

○中学校2年男子

- ・9種目中ほとんどの種目で国や県を上回っており、1種目（上体起こし）は国を上回っているが、県を下回っている。また、1種目（シャトルラン）は国や県を下回っている。体力合計点は、国や県を上回っている。

○中学校2年女子

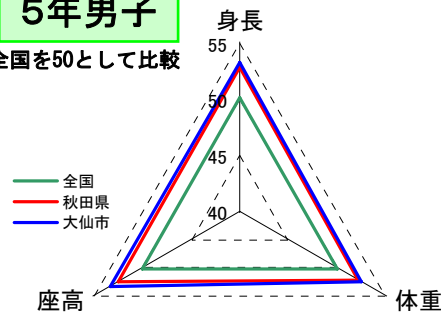
- ・9種目中ほとんどの種目で国や県を上回っており、1種目（立ち幅とび）は国を上回っているが、県を下回っている。また、2種目（上体起こし、シャトルラン）は国や県を下回っている。体力合計点は、国や県を上回っている。

Ⅲ 体格調査の結果

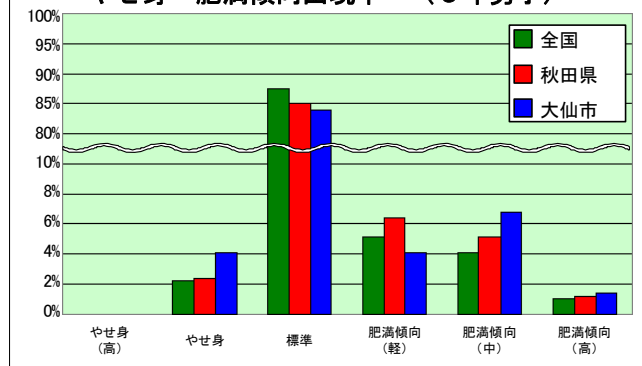
1 小学校の状況

5年男子

全国を50として比較



やせ身・肥満傾向出現率 (5年男子)

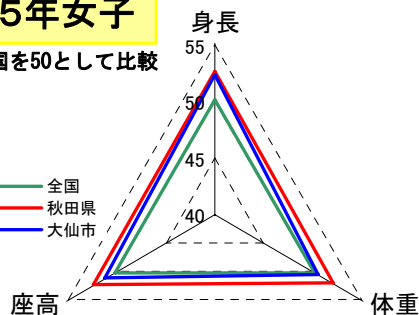


○小学校5年男子

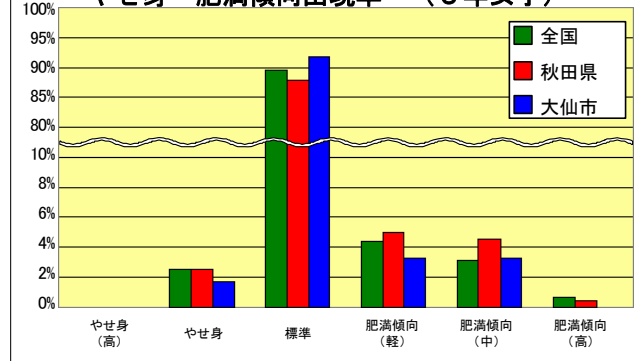
- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を2割以上上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が3割以上少なく、「中度肥満」が2.7割、「高度肥満」が0.4割多い。

5年女子

全国を50として比較



やせ身・肥満傾向出現率 (5年女子)



○小学校5年女子

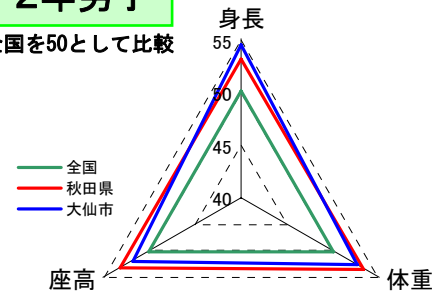
- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を0.5~2.2割上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が2.2割多く、「軽度肥満」が1.1割少なく、「中度肥満」が0.2割多い。「高度肥満」は0割である。

Ⅲ 体格調査の結果

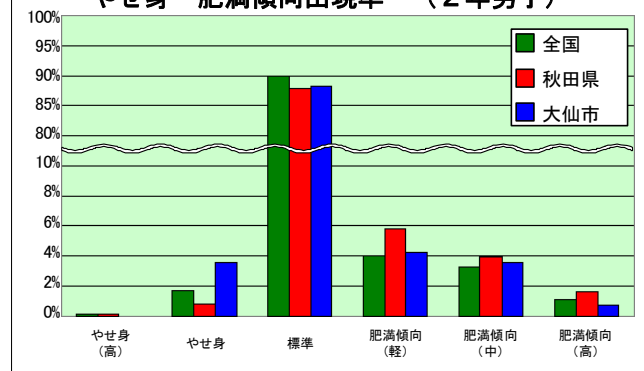
2 中学校の状況

2年男子

全国を50として比較

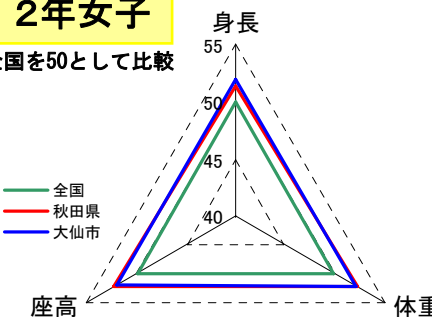


やせ身・肥満傾向出現率 (2年男子)

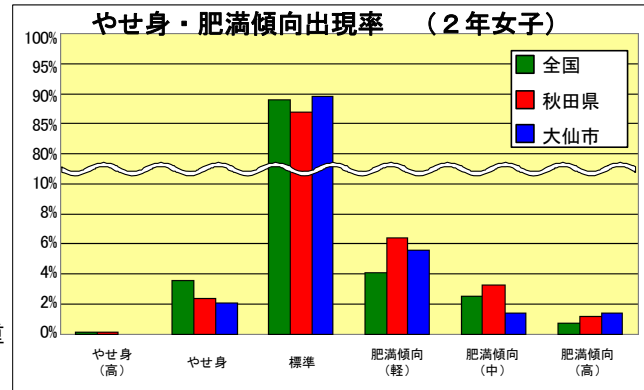


2年女子

全国を50として比較



やせ身・肥満傾向出現率 (2年女子)



○中学校2年男子

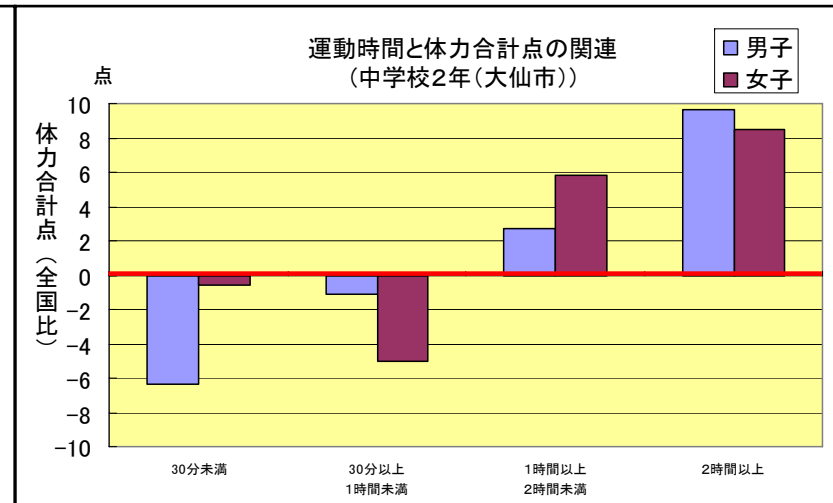
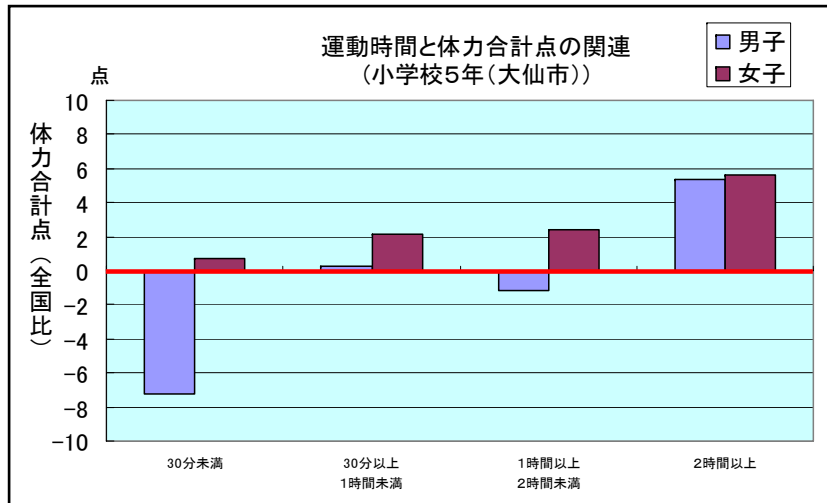
- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を2.5~3.2割上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が0.5少なく、「軽度・中度肥満」が0.2少なく、「高度肥満」が0.4少ない。

○中学校2年女子

- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を2.5~3.2割上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が0.5多く、「軽度肥満」が1.5多く、「高度肥満」が0.7多い。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

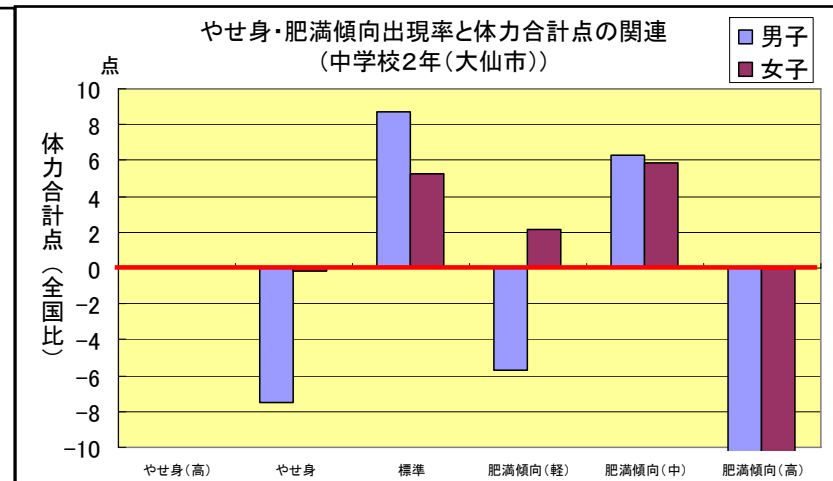
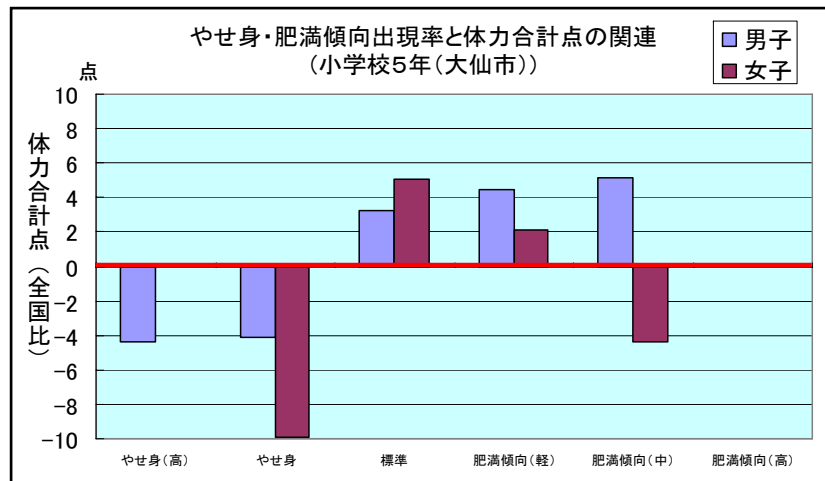
①1日の運動時間と体力との関連



- 1日の運動実施時間（体育を除く）が、2時間以上になると、小・中学校男女共に体力合計点が顕著に高くなる。
- 小・中学校男女共に、H21年度とほぼ同じ傾向となっている。H22年度は、1時間以上2時間未満の運動をしている中学校男女の体力得点が、国の平均を上回っているが、小学校男子は下回っている。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

② やせ身・肥満傾向と体力との関連

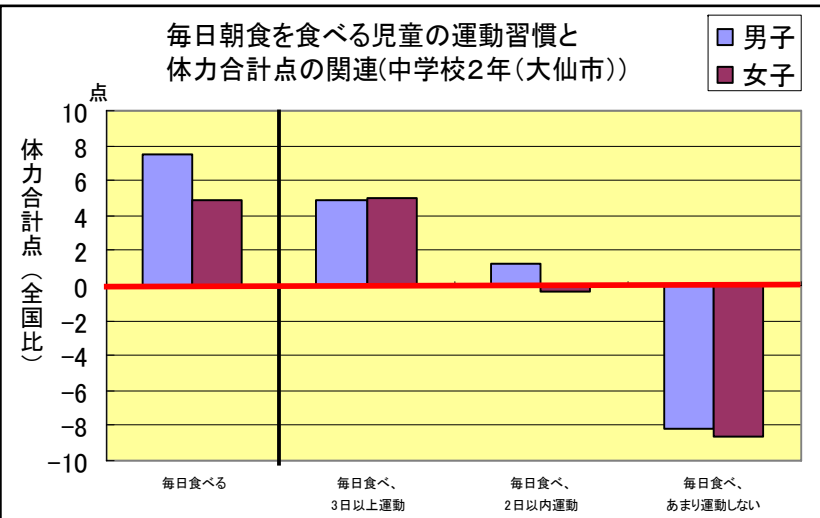
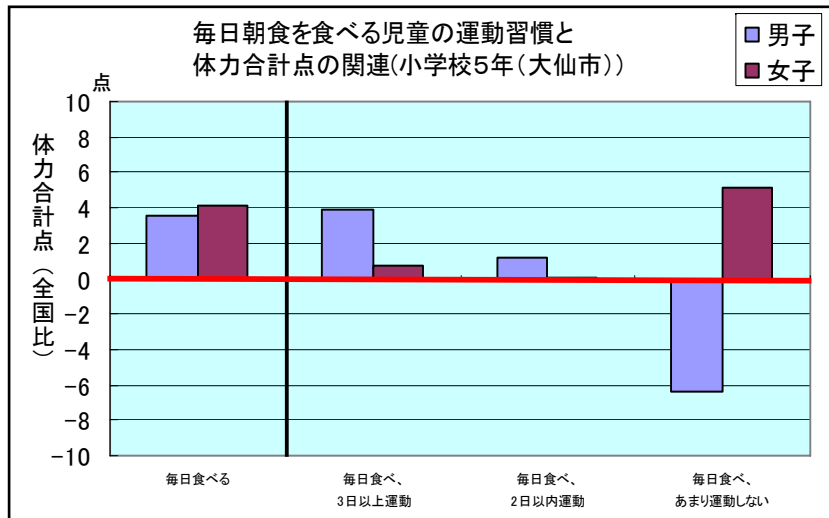


肥満傾向(高) (肥満度50%以上)、(中) (肥満度30~49.9%)、(軽) (肥満度20~29.9%)
標準 (肥満度-19.9~19.9%)、やせ身 (肥満度-29.9~-20%)、やせ身(高) (肥満度-30%以下)

- 小学校では、男子は「やせ身」「標準」「肥満傾向(軽)」の児童が、女子は「標準」「肥満傾向(軽)」の児童が体力合計点が高く、全国平均を上回っている。
- 中学校では、男子は「標準」「肥満傾向(中)」の生徒が、女子は「標準」「肥満傾向(中、軽)」の生徒が体力合計点が高く、全国平均を上回っている。
- ◎小・中学校男女共に、「標準」の児童生徒の体力合計点が全国平均を上回っている。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

③ 毎日朝食を食べる児童生徒の運動習慣と体力合計点の関連

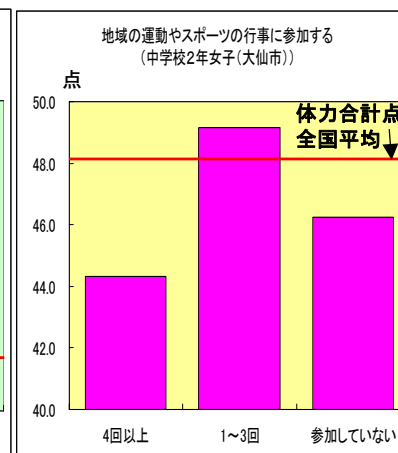
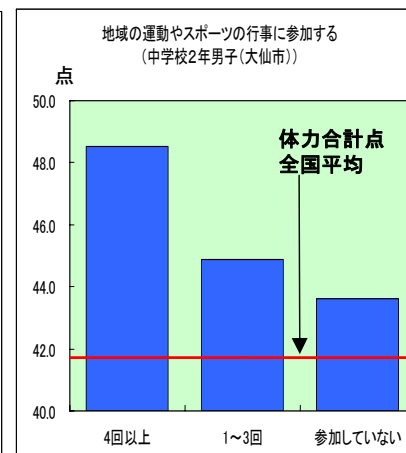
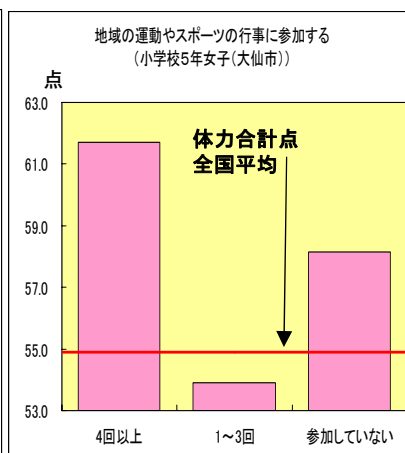
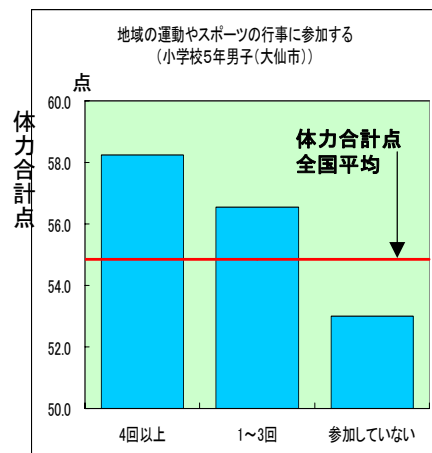


○毎日朝食を食べ、さらに週3日以上運動している児童生徒の方が体力合計点も高く、全国平均を上回っている。中学校男女に顕著である。

V 家庭や地域と体力合計点との関連

①地域の運動やスポーツに参加する児童生徒と体力合計点の関連

Q 小学校4年生（中学1年生）の時、地域で実施される運動会やスポーツに関する行事に、1年間で何回くらい参加しましたか。

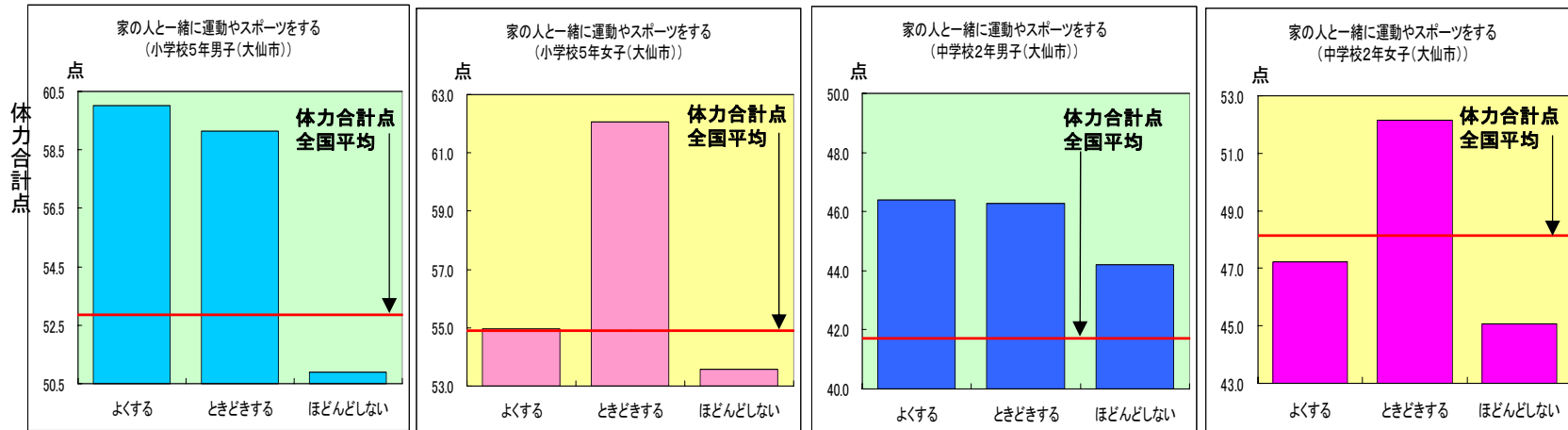


- 全国の傾向（児童生徒に配布されている「活用シート」の資料による）としては、小学校5年の男女において、地域の運動やスポーツへの参加を「4回以上」「1～3回」と回答した児童は体力合計点が高く、「参加していない」と回答した児童は体力合計点が全国平均を下回っている。
- 本市では、小学校5年男子は全国と同様な傾向が見られる。中学校2年の男子は、地域の運動やスポーツへの参加を「4回以上」「1～3回」「参加していない」のいずれに回答した生徒も体力合計点が高い。女子は、小・中学校共に全国と同様な傾向は見られない。

V 家庭や地域と体力合計点との関連

②家の人と一緒に運動やスポーツをする児童生徒と体力合計点の関連

Q 家の人と一緒に運動やスポーツをどのくらいしますか。



よくする=週に1回以上

ときどきする=1か月に1~2回程度

ほとんどしない=年に数回かまったくしない

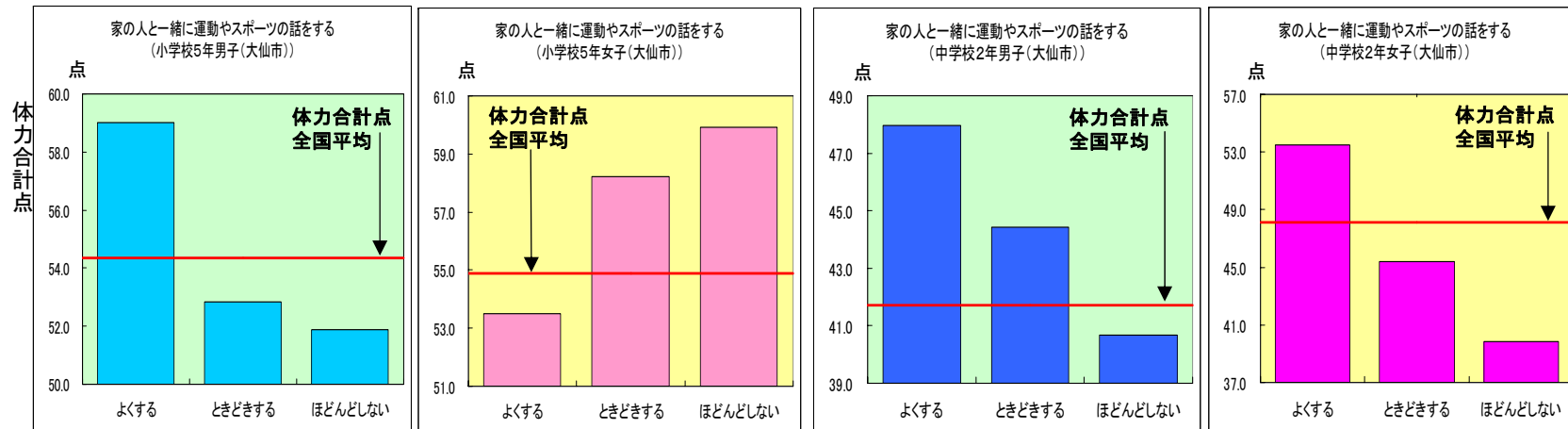
○全国の傾向（児童生徒に配布されている「活用シート」の資料による）としては、中学校2年の男女において、家の人と運動やスポーツを「よくする」「ときどきする」と回答した生徒は体力合計点が高く、「ほとんどしない」と回答した生徒の体力合計点は全国平均を下回っている。

○本市では、小学校5年の男子において、家の人と運動やスポーツを「よくする」「ときどきしている」と回答した児童生徒の体力合計点が高い傾向が見られる。中学校2年男子及び小・中学校の女子には、全国と同様な傾向は見られない。

V 家庭や地域と体力合計点との関連

③家の人と一緒に運動やスポーツの話をする児童生徒と体力合計点の関連

Q 家の人と一緒に運動やスポーツについてどのくらい話をしますか。



よくする=週に1回以上

ときどきする=1か月に1~2回程度

ほとんどしない=年に数回かまったくしない

○全国の傾向（児童生徒に配布されている「活用シート」の資料による）としては、小・中学校の男女共に、家の人と運動やスポーツの話を「よくする」と回答した児童生徒は体力合計点が高く、「ほとんどしない」と回答した児童生徒の体力合計点は全国平均を下回っている。

○本市では、小学校5年の女子以外は、家の人と運動やスポーツの話を「よくする」と回答した児童生徒は体力合計点が高く、全国と同様な傾向が見られる。

VI 考察

1 本市の傾向

<体力・運動能力調査> (※全国平均を100%として比較)

- 体力・運動能力において小・中学校の男女共にほとんどの項目で全国を上回っている。
- 総合評価「A」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国を上回っており、小学校5年女子以外は県を上回っている。総合評価「D、E」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国や県を下回っている。
- ◎中学校2年男子は、本県が全国1位である握力、立ち幅とびにおいて、県を上回っている。
- ◎小学校男女とも、反復横とび、20mシャトルランで10割以上全国を上回っている。
- ◎中学校男女とも、ハンドボール投げで10割以上全国を上回っている。
- △小学校5年男子50m走、中学校2年男女20mシャトルラン、女子上体起こしは全国を下回っている。

<体格調査>

- 小・中学校男女共にT得点（全国平均値に対する相対的位置を示す）において、身長、体重、座高全ての項目で、小学校は0.5～2.2割、中学校は2.5～3.2割全国を上回っている。
- △肥満傾向出現率において、「標準」の児童生徒は、小・中学校共に男子が全国より若干下回っており、総じて「肥満傾向」の児童生徒が全国より若干多い。

2 改善に向けて《やせ身や肥満傾向改善のために》

◇運動習慣確立のための継続的な取組の実施

- 業間運動や放課後持久走などを継続的にを行い、運動を習慣化する場と時間を設定するなど全校体制の取組を推進する。

◇食習慣・生活習慣確立のための継続的な取組の実施

- 食育や授業などをとおして生活の見直しをさせ、正しい食習慣や基本的生活習慣の確立を図る取組を推進する。（連絡帳、ノートを活用）
- 保護者・地域と連携して子どもの正しい食習慣や生活習慣の確立を図る。